

実施状況

9月6日(日)の日曜参観の日に公開授業を実施し、保護者全員やその他の参観者が多数ありました。

男の子と女の子のそれぞれのよさを見つけることで、協力して生活できることを念頭に置きながら授業を構想しました。男女の特性や男女特有のよさに触れながらも、男の子がやること女の子がやることなどといった固定観念にとらわれないような考え方が大切であることをおさえるようにしました。

ワークシートを効果的に用い、自分の持っているイメージを確認し、それをクラス全体で話し合ったり、これまでの生活を振り返って男女それぞれのよいところを出し合ったりしました。最後に男子は女子に、女子は男子に互いのよいところを書いて本人に渡すことにより、互いに認め合っているという気持ちを大切にさせ、男女が協力して生活していこうとする意欲をさらに高められるようにすることができました。

児童・生徒の感想

- ・ 今まで、これは男の人がやること、女の人がやることと思っていましたが、そんなことはないことが分かって楽しかったです。
- ・ ぼくは、自分の気がつかないところを女の子に〇〇がよいと書いてもらって、うれしかったです。ぼくもその人のよいところをもっと見つけてみようと思いました。
- ・ 男の人と女の人が力を合わせて生活すると楽しいことがもっと多くなると思いました。

参観者の感想

- ・ とても分かりやすく教えてもらったのでよかったです。
- ・ 今後、男子も女子も差別をしない(仕事のことで)ことを話し合っていきたいと思います。
- ・ 男女共同参画社会と言っても、実際は男女の差別や偏見があるのが現状だと思いましたが、お互いの立場を理解したり、男女が積極的に社会に参加したりしていくことが大切だと思いました。

指導者の感想

初めに、児童のありのままの思いや考えを確認し、黒板を使ってまとめ、それをもとにクラス全体で話し合いましたが、話し合いの内容をその後の学習活動に結びつけることができたと思います。最後の一人一人のよさを書くことは、児童にとって難しかったようでしたが、自分のよさを認めてもらった児童はとてもうれしそうで、男女が協力して生活していこうという気持ちを改めてもつことができたのではないかと思います。

